

平成25年度 唐津市財務諸表 概要版（現金主義の決算書から財務諸表3表への組み替え）

組み替え元				⇒	組み替え先				組み替え後（単位：百万円）			
									普通会計	単 体	連 結	
発生主義	歳入	未収金（税等の滞納分）		a	行政コスト計算書	経常費用	退職・賞与引当金など	b	1,219	1,284	1,288	
	歳出	退職・賞与引当金など		b			減価償却費等	c	2,161	2,836	2,848	
		減価償却費等		c			行政サービスに対する支出 注2：退職金等の一部支出額を除く	⑥	46,564	98,475	98,911	
		未払金など		d			公債費（利子の償還）	⑧	1,156	2,414	2,516	
							計		51,100	105,009	105,563	
					経常収益	使用料・手数料等の収入	①	3,158	33,643	34,220		
					純行政コスト（経常費用－経常収益）				47,942	71,366	71,343	
					【参考】行政コスト計算書の行政サービスに対する支出額から除いた額				2,666	2,807	2,934	
唐津市歳入歳出決算書 （現金主義）	歳入・歳出決算	歳入	使用料・手数料等の収入	①	資金収支計算書	経常的支出	行政サービスに対する支出	⑥	47,835	97,876	98,887	
			租税等の収入	②		経常的収入	使用料・手数料等の収入	①	3,134	33,605	34,642	
			資産の処分による収入	③			租税等の収入	②	52,935	80,845	80,845	
			市債の発行による収入	④		経常的収支区分（①＋②－⑥）	イ	8,234	16,574	16,600		
			注1：繰越金	⑤		資本的支出	資産形成に対する支出	⑦	5,242	10,668	10,688	
	歳出	行政サービスに対する支出	⑥	資本的収入		資産の処分による収入	③	681	983	986		
		資産形成に対する支出	⑦	資本的収支区分（③－⑦）		□	-4,561	-9,685	-9,702			
		公債費（元金・利子の償還）	⑧	基礎的財政収支（イ＋□）				3,673	6,889	6,898		
	関財務に調書する	歳入－歳出＝形式収支	⑨	財務的支出		公債費（元金・利子の償還）	⑧	9,484	15,032	16,031		
		基金などの積立金等	⑩	財務的収入		市債の発行による収入	④	6,358	9,859	10,926		
		土地（市道等の底地を除く）	⑪	財務的収支区分（④－⑧）		ハ	-3,126	-5,173	-5,105			
		建物等（市道等の工作物を除く）	⑫									
その他の資産等	資産	市道・林道・河川等	e	貸借対照表	金融資産	未収金（税等の滞納分）	a	1,606	5,733	5,878		
		リース資産	f			形式収支	⑨	2,442	5,358	5,743		
		建設中の資産	g			基金などの積立金等	⑩	16,982	19,084	18,971		
		市債の残高	h			土地（市道等の底地を除く）	⑪	57,305	58,596	58,596		
	負債		建物等（市道等の工作物を除く）		⑫	49,430	56,124	57,458				
					非金融資産	数量↓金額	資産台帳	市道・林道・河川等	e	198,728	270,896	270,896
								リース資産（支払い済み分）	f	163	7,025	7,033
								建設中の資産【建設仮勘定】	g	1,172	1,172	1,172
					資産 計				327,828	423,988	425,747	
					負債	退職・賞与引当金など	b	15,286	15,351	11,218		
						未払金など	d	1,321	3,202	8,849		
						リース資産（未払い分）	f	128	1,000	1,001		
						市債の残高	h	79,064	143,132	143,132		
					負債 計				95,799	162,685	164,200	
					純資産（資産－負債）				232,029	261,303	261,547	

※ 発生主義の勘定科目は、実際に現金の出し入れはありませんが、決算時点で支払い義務等が発生しているものについて、合理的な計算方法で算出した金額を計上しています。

注1：繰越金は、前年度の形式収支額であり、前年度の貸借対照表の金融資産として計上しているため、組み替えの対象外となります。

注2：前年度の行政コスト計算書において、発生主義に基づき退職・賞与引当金として計上した額には、本年度実際に支出した退職金や賞与金の一部が含まれているため重複分を本年度支出額から控除しています。

※ 発生主義の勘定科目は、実際に現金の出し入れはありませんが、決算時点で支払い義務等が発生しているものについて、合理的な計算方法で算出した金額を計上しています。

注1：繰越金は、前年度の形式収支額であり、前年度の貸借対照表の金融資産として計上しているため、組み替えの対象外となります。

注2：前年度の行政コスト計算書において、発生主義に基づき退職・賞与引当金として計上した額には、本年度実際に支出した退職金や賞与金の一部が含まれているため重複分を本年度支出額から控除しています。